



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では16名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



歴史と教育のまち・歴史と文化の薫るまち 実現にむけて
 市議団大地代表 内田 英亮

問 歴史は活かして初めて意味を持つ。史学専攻者として①旧本庄警察署をパネル展等で活用し内部公開しては②歴史と教育のまちとして、本年度100年の関東大震災・朝鮮人事件（市史）展示を企画し市民のリテラシー向上を図っては③本市出身である塙先生の生家の活用構想は④近世を専門とする学芸員の採用で江戸時代の研究と展示の充実を、以上4点提案するが、市の考えを承りたい。

答 ①旧本庄警察署については、隣接する田村本陣の門や中山道周辺に所在する旧本庄商業銀行煉瓦倉庫等の歴史的な文化財資源を一つのまとまりとして文化財保存活用地域計画で中山道本庄宿を設定し、保存と活用の方針を定め、中山道散策の拠点として活用と整備を進めます。②ご提案の旧本庄警察署の活用については地域計画の取組における方法の一つとなる



企画展・特別展で旧本庄警察署の活用を

貴重なご意見として承ります。③塙保己一旧宅については敷地内への立ち入りをお断りさせていただいている状況です。旧宅の周辺は保己一を知る上で貴重な歴史資料が集まった地域であり、地域計画によるゆかりの地や遺品等の一体的な保存・活用、併せて偉業の顕彰を推進します。④本市の歴史の魅力発信には近世などを専門とする職員の採用・配置が必要と考えています。今後ニーズに沿った展示施設や学芸員について、できる範囲で取組を進めます。（文化財保護課）

【その他の質問】
 ・五歳児死体遺棄事件と検証委員会をめぐって
 ・2050 ゼロカーボンシティ実現にむけた取組について

国道254号本庄藤岡間バイパスについて
 自由民主党 本庄クラブ代表 小林 猛

問 私は昨年、議長と建設産業常任委員長と関係する神川町役場、藤岡市役所に出向きました。神川町役場では、現在の254号の藤岡橋は、土、日、休日は渋滞がひどく、平日でも朝、夕方は渋滞で困っている。藤岡市役所では、公立藤岡総合病院の患者は、埼玉県の方が3割を占めていると伺いました。国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進期成同盟会の現状と今後の予定を伺います。

答 国道254号は、多様な機能を有することから交通が集中し、特に県境の藤岡橋を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進期成同盟会は、平成27年12月に藤岡市を会長とし、本庄市、神川町の2市1町で、各首長、議長、関連する常任委員会の委員長の9名で設立されました。埼玉県、群馬県の両県へ、国道254

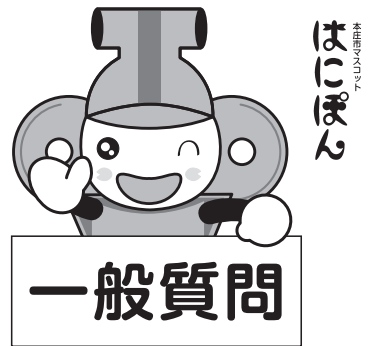


国道254バイパス起点部(吉田)

【その他の質問】
 ・児玉駅及び周辺整備について
 ・本市との姉妹都市について

号バイパスの早期事業化について毎年要望活動を行っています。令和4年度からは、この期成同盟会とは別に、各市町の事務レベルで勉強会を開始しました。バイパス整備によるストック効果、概算事業費の算定、コスト削減方策、費用対効果の分析などについて調査研究をしています。いずれにしても、神流川に新橋を架ける必要があり、多額の整備費用がかかるなど多くの課題がある一方で、地域医療の充実、産業活動の活性化などの効果も期待できることから、今後も両県へ要望活動を行っていきます。（道路管理課）

ここがポイント！ そこが聞きたい！！



公共施設の現状と今後の取り組みについて
 市議団未来代表 林 富司

問 高度経済成長期に建築された多くの公共施設は老朽化が進んでいます。市の管理している公共施設の総数及び耐用年数を経過した施設の現状について伺います。次に誰もが気軽に移動できるエレベーターの設置及び公民館等のトイレを和式から洋式に改良することへの考え方について伺います。なお、今後の動向が注目される老人福祉センター「つきみ荘」の取り組みについて伺います。

答 市で管理している公共施設の総数は、令和4年度末時点で109施設です。また、耐用年数を経過した公共施設は、令和4年度末時点で6施設です。このうち木造の市営住宅は随時修繕・改修等を行い、日常的に安全を確保して使用しています。なお、入居者が退去した後は、建物の用途廃止を行い解体することとしています。公共施設の整備や改修に当



【その他の質問】
 ・児童生徒の安全対策の取り組みについて

たつては、バリアフリー水準の底上げを図ることで誰もが安心して施設を利用できる環境の整備を図っているところです。エレベーターの設置はこういった観点から進めていくべきものと考えています。トイレの洋式化は、各公民館が施設の更新や他施設との複合化を検討すべき時期を迎えていることから具体的な方針を考える中で検討していきたいと考えています。老人福祉センターつきみ荘は、大規模改修や他施設との複合化等検討すべき時期を迎えています。審議会や市民の皆様のご意見を伺い、具体的な方針を検討していきます。（企画課）

本庄市の住宅施策について
 市議団きせき代表 巴 高志

問 近年の超高齢化・地球環境問題の深刻化は、国内の住宅施策にも影響を与えています。従来のモノを対象とした住宅施策から、生活というソフトを組込む新たな住宅施策（居住施策）は、自治体の各部署が、従来の縦割り行政体系から福祉医療など生活を取り巻く政策領域との連携・協働による新たな施策展開が求められています。本庄市の住宅施策の取組についてお答え下さい。

答 本市では、公営住宅法による市営住宅15団地554戸を管理運営し、低額所得者、高齢者、子育て世帯等の入居を促進しています。市営住宅への通常世帯の入居については、市内に在又は在勤であること、収入月額が15万8千円以下であることが主な要件です。住宅と福祉との連携について、低額所得者、高齢者、障害のある人などの住宅確保要



【その他の質問】
 ・本庄市のふるさと納税への取組について
 ・本庄市におけるマイナンバーカードの利用について

配慮者世帯の住宅供給については、福祉との連携により行っています。具体的には、災害等により住まいを失ってしまった方のために市営住宅4戸を確保し、被災者の方が新たな住まいが見つかるまでの間、最長1年間、家賃無償で入居することが可能となっています。また、令和3年7月より、住居のない若しくは住居を失うおそれのある生活困窮者を対象に、生活困窮者一時生活支援事業として、市営住宅2戸を確保し、最長6か月間、家賃無償で入居することが可能となっています。（営繕住宅課）

認知症の予防について

清水 静子(公明党)

問 保険会社の調べによると自分がなりたくない病氣ランキングで認知症が第1位。ならば予防が1番と考える。危険因子のヒアリングフレイル、オーラルフレイルについて検診を実施してはどうか。またウォーキングなど有酸素運動に認知症の原因のアミロイドβの蓄積を防ぐ効果がある。スマートフォンを持って歩く、そこにポイントを付与するウォーキングポイントの導入はどうか。

答 本市で実施している特定健康診査は高齢者の医療の確保に関する法律に基づくもので、項目は特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準に定められており、聴力検査は含まれておらず、実施していません。検査の実施については、国や県、他市の状況を注視しながら調査研究を進めていきます。本市の歯周疾患検診は、節目検診として、40歳から70歳

の5歳刻み、また73歳の方に実施しています。4月にがん検診等の案内の中に、該当者に受診券を送付して周知しています。一方で定期的な口腔内の検診を受ける方もおり、このように自ら定期的なメンテナンスを受ける人が増えることにより認知症の予防につながることを期待しています。市民の健康寿命を延ばすサポートのため、関係各課と調整し、はにぼんチャレンジ事業を実施しています。新たにウォーキングイベント等の計画があれば、積極的に対象事業としてと考えています。スマートフォンを活用したポイント付与については今後の課題とさせていただきます。

【その他の質問】
・デジタル地域通貨について
(健康推進課ほか)



本庄市の婚活への

取り組みについて

梗田 平一郎(市議団きせき)

問 若者へのインターネット等を活用した婚活への取組の成果はいかがか。市独自でもっと気軽に参加できる婚活から婚活への支援を考えてほしい。若者に苦しみや困難なこともあるが、子供を持つ喜びを是非感じてほしい。企業版ふるさと納税などを財源として無料でのノンアルコールでの出会いの場を作れないか。市の考えを伺う。

答 本市における婚活支援は、埼玉県公的結婚支援センターである「恋たま」の、特に本庄市社会福祉協議会が運営する本庄センタートと連携し婚活イベント等の開催に取り組んでいます。また県北7市町で組織する県北7市町協議会で広域的な婚活支援に取り組んでいます。令和2年度から令和4年度までの婚活支援の実績は、婚活イベントセミナーの開催が9回で259名が参加、また婚活パーティを3回開催し98名

の参加があり、17組のカップルが誕生しています。またコロナ禍ではオンライン婚活イベントの開催、本年2月にはタブレット端末を活用するなど、工夫に努めています。市独自の支援ということですが、本市としては単独で婚活支援を実施するよりも専門的なノウハウを持った本庄センタートや県北7市町協議会と連携を図り行っていくことが現状では適当と考えています。ふるさと納税は本市独自の財源と考えており、婚活支援に取り組む中で、財源となることもあると考えています。

【その他の質問】
・本庄総合公園の整備について
・国道462号及び新駅南通り線について



出会いサポートセンター本庄のチラシ

水の安全性について

谷田 裕之(市議団大地)

問 有害性が指摘される化学物質PFAS(ペーファス)等による環境汚染が問題となっています。これは人工的に作られた有機フッ素化合物の総称でフッ素加工のフライパンや防水スプレー等の製品に使われています。また永遠の化学物質と呼ばれる分解されず土壌汚染、水道水の汚染につながる場合もあります。河川等や水道水で市の対応を考える必要性があると思いますが答えください。

答 PFAS等は人が体内に取り込んだ場合、発がん性などが指摘されています。環境省では、PFASの一種であるPFOS及びPFOAについて全国的な調査を令和元年度に実施し、元小山川の新泉橋での採水結果は暫定指針値を超過してしました。この調査結果を受け、埼玉県が令和2年7月に追跡調査を実施し、最終的な結果では暫定指針値を下回り、令和

4年1月をもって埼玉県による調査を終了しています。本市では、令和3年度以降の水質検査について原水は年2回、浄水は年1回実施し、暫定目標値を超えたことはない状況です。今後の市の対応について、本市の水道水の水質検査の結果では、適合となつていますが、原水、浄水のいずれからでもPFOS及びPFOAが微量ですが検出されています。皆さまに安心してご使用していただくため、国や県の動向等を確認しながら、水質検査の重要性を職員等に再認識させ継続的に検査を実施し、更なる水質の監視に努めていきます。

【その他の質問】
・特定健康診査(集団)について
(環境推進課・水道課)



街路照明灯にかかる

諸問題について

山田 康博(市議団きせき)

問 本市の防犯を考える上で、市民が恩恵を受けている街路灯。その街の明かりが危機に瀕している。少子高齢化・商店街の衰退・ライフスタイルの変化・器具の老朽化などにより街路灯の維持が難しくなっている。今後の社会問題としてとらえ、管理状況の把握や集金システムの効率化、防犯灯への切り替えなど、安心安全のために将来の道筋を示す必要があると考えるが見解を問う。

答 商店街街路灯は、各々の商店会が、街の活性化やその地域の発展及び振興を図るために設置したものです。しかし、中心市街地の空洞化や後継者の不在など、街路灯を維持管理する組織の存続が危ぶまれています。既存の商店会にアンケート調査を実施したところ、短期・長期を含めて維持管理が困難であるという回答が多くありました。今後、かつて商店会が

管理していた街路灯も含め、現状の把握と情報交換に努めていきます。また、撤去に関する補助制度も他市の事例を参考に研究していきます。商店街街路灯は、商店街を明るくするだけでなく、防犯としての側面も有していると認識しています。ご質問の商店街街路灯から防犯灯への切り替えは、灯具の違いや設置基準、施設の老朽化等の問題、また防犯灯とすることで管理が自治会へ移管となり、自治会の負担が大きくなるなどの課題があることから、自治会等の意見も伺いながら、他自治体の状況等を含め検討していきます。

【その他の質問】
・本庄版スーパー・シテイプロジェクトについて
(商工観光課ほか)



まちを静かに照らす街路灯

通学路の安全確保について

柿沼 綾子(無党派)

問 国道17号小島北交差点から旭小学校に向かう通学路、県道351号線は交差点の角に建設中のビジネスホテルの敷地に面している。ここを通る児童の安全確保についての心配の声が地元から上がっているが、市はどのような情報をつかんでいるのか伺う。

市のできることで、また、事業者の地元住民への説明会などはどのように開かれているのか伺いたい。

答 建築中の建物の概要は地上10階建てのホテル1棟で、工事現場に面した旭小学校の通学路を通る児童の安全確保について地元から心配の声が上がっていることは把握しています。旭小学校の校長も着工前から視察を行い、工事現場の方に対して通学路に面しているので十分安全に配慮して工事を行うことなどを依頼しています。旭小学校の安全対策につい

ては学校応援団、スクールガードリーダー、民生・児童委員等の地域の皆様のご協力により、自治会単位での交通安全ボランティア通称見守り隊が組織されています。さらに月に1度の全校一斉下校時や見通しの悪い交差点等で教員による交通安全指導等を行っています。ホテルのオープン後は通行車両の増加等も予想され、地域の皆様と引き続き連携し、通学路の安全確保に関する指示・指導を徹底してまいります。

【その他の質問】
・教科書採択について
・関東大震災から100年の行事について
(学校教育課)



デマンド交通について

門倉 道雄（市議団未来）

問 5年間でどう改善があったのか伺う。利用者の声では、往復の予約はできるようになったのか、空車の移動が多いのでは、とよく聞く。市民、特に高齢者が安心して「行つて、帰つてこられる」公共交通を市はどう考

えるのか伺う。50を超える自治体が導入しているカーナビと自動車部品の（株）アイシンが実施している「チョイソコ」導入を、民間力をフル活用する為、検討研究するのか伺う。

答 改善点として、全停留所の看板にQRコードを設置し、市のホームページのデマンドバス利用案内へリンクを行いました。また利用者のいない停留所5か所を廃止し7か所を新設しました。車両については、車椅子の固定金具を電動車椅子対応型に変更しました。令和3年11月には障害者手帳の情報をスマートフォンアプリに登録し、画面を提示することで割引を

受けられるミライロIDを導入しました。また空車時間を極力発生させないよう、もといずみ号を使用した中学生の通学バスの運行時間と運行経路等を見直しました。

予約については令和7年度に予定しているデマンドバスの運行形態の見直しに向け、現在、実効性の高い予約システムの導入を検討しています。高齢化の進展等により公共交通施策はますます重要となつていきます。今後も議員ご提案の先進事例等を研究し、民間事業者との連携も視野に入れながら、引き続き改善に取り組み、市民の皆様の利便性の向上に努めていきます。

（都市計画課）

【その他の質問】
・市内小学校体育館トイレについて



群馬県明和町の「チョイソコ めいわ」

児玉郡市で連携して教育の質を高めることについて

倉林 益代（市議団きせき）

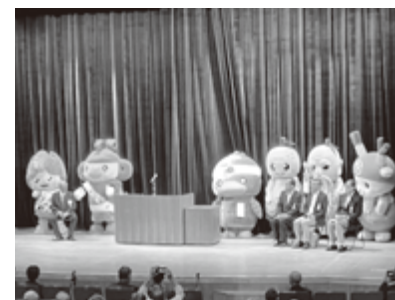
問 先生方が子供たちと向き合い、日々やりがいをもって教育に携えるよう教育環境を整えるため、組織の見直しを図るべき。本

ただでなく児玉郡市で連携すれば、部活動地域移行の課題である地域人材の確保や報酬について、広域で情報共有ができる。また、深刻な教員不足・小中連携の課題克服など児玉郡市全体8人の首長と教育長で知恵を出し合うことで可能性が広がると思うがどうか。

答 これまで児玉郡市では、教職員の資質向上や教育環境の充実を図るため、連携協力を図ってきました。学力向上の取組では、郡市校長会が中心となり、各教科や領域ごとに郡市内の各小中学校の教員で組織される本庄児玉郡市教育研究会、体力向上の取組では、郡市内の小中学校の体育主任で組織される小学校体育連盟と中学校体育連盟があります。不登校対策

の取組では適応指導教室を本庄市が設置し郡市で共同利用しています。生徒指導の取組では学校・PTA・警察連絡協議会があり郡市内の学校の連携や課題の情報共有を行っています。特別支援教育の取組では郡市内に通級指導教室を設置し、学校保健の取組では本庄市児玉郡医師会と養護教諭等で組織された児玉郡市学校保健会があります。今後現在の取組を引き続き推進し、諸課題に対する対応等について郡市や県北部教育事務所管内で情報を共有し連携を図るとともに、効果が得られた取組は本市の教職員に周知していきます。

【その他の質問】
・本庄市の農業の活性化について



郡市ゆるキャラ大集合

おもな案件②

◆本庄市農業委員会の委員等の定数を定める条例の一部を改正する条例
農業委員会等に関する法律に基づき、農地利用最適化推進委員の定数を改正するための条例改正です。

◆工事請負契約の締結について

本庄市立本庄西中学校大規模改修工事請負契約の締結について、本庄市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。



本庄西中学校

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、次の方を人

権擁護委員の候補者として推薦したいため、議会の意見を求めるものです。

福島 慎治 氏
中島 邦夫 氏
根岸 享子 氏
反町 光弘 氏
石川 優子 氏

◆令和5年度本庄市一般会計補正予算（第3号）

小中学生等の保護者の負担を軽減するため、令和5年9月から令和6年3月までの7か月分の学校給食費相当額を補助するなど、歳入歳出それぞれ4億6458万2000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ311億7060万3000円とするものです。



6月定例会における各委員会の審査内容について主な

の審査内容について主なもの

のを紹介しします。

◆総務常任委員会

○第31号議案
本庄市手数料条例の一部を改正する条例
低炭素建築物新築等計画の認定申請等の簡素な評価方法について質疑しました。付託議案6件について、すべて可決すべきものと決しました。

◆建設産業常任委員会

○第50号議案
令和5年度本庄市一般会計補正予算（第3号）
畜産飼料高騰対策支援事業補助金について対象となる畜産事業者などについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものとして決しました。



◆厚生文教常任委員会

○第50号議案
令和5年度本庄市一般会計補正予算（第3号）
放課後児童対策事業の送迎

◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路の早期整備のため、大宮国道事務所を訪問し、要望活動を実施しました。また、本庄県土整備事務所を訪問し、国道254号本庄藤岡間バイパスなど幹線道路の整備促進をお願いしました。

◆交通政策及び観光政策特別委員会

JR東日本高崎支社への要望活動を実施するため、その要望書について、要望書の中で記載する要望事項を協議しました。

修正動議の提出

第50号議案「令和5年度本庄市一般会計補正予算（第3号）」に対し、観光振興チャレンジサポート補助金の補正額を100万円から0円とする修正の動議が提出されました。

インフォメーション

▶本会議のライブ中継・録画配信◀

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年分（令和2年6月定例会以前は一般質問のみ）をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html

※スマートフォンでも
ご覧いただけます。



▶傍聴のお知らせ◀

【本会議を傍聴される方】

本会議は、一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。
※ヒアリング（磁気）テープもごさいますので、お声がけください。

【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。